

U19世界選手権



上 ミーティング：毎朝、毎トレーニングの風景ですが、慣れることなく「気の引き締まる」大切なイベントです。

左下 JM4x 予選蹴り出し：S古田(米子工業)、3武田(美方)、2高田(敦賀工業)、B中原(日田)

右下 船台で応援するJPN女子チーム

8/6 (水)

いよいよレースが始まります。本日はJPNの男子の予選です。07:00に朝食。その後08:30ホテル発のバスに乗り、会場に移動する予定でしたが、予定より遅れてバスが到着。加えてそのバスが満員となったためJPNチームは2班に分かれての移動となりました。

本日より藤岡先生(潮来高校)もJPNチームに参入です。力強いメンバーが加わり、予選のレースに向けての大きな励みとなります。天候はよく晴れていますが少し肌寒い感じ。レースは午後のため、午前は男女とも、本日行われる「Practice Starts」を行なうため水上に。今までと違うTraffic Rulesのため、しっかり確認して水上に。実際のレースのスタートシステムでの練習を男子は2回、女子は3回行い、スタートを確認しました。多くのクルーで混雑する中でしたが、男子・女子とも上手くできた様子です。

午前のトレーニング後にランチを済ませ、休息の後、レースに向けて陸上でのアップ。いよいよレースです。レース前のミーティングで、古田ヘッドコーチ、鎌野コーチから気合が入り、いざ水上に。

世界の選手が集う大会に来て、幾度となく私たち日本人が他国選手を見て思わず口にしてしまうのが「でかいな」「大きいな」「ぶ厚いな」です。ケータリングの際に並んでいても、他国の選手が男女問わず、私たち日本人を間に挟んで、頭上で会話をさせてしまうこともよくあります。オープンカテゴリーしかないU19の中で、「どこが強い、ここはそうでもない」などの憶測はJPNにとって何の意味もありません。日本国内のRowing環境では味わうことが無い状況の中で、JPNジュニアチームはオープンの世界各国に挑みます。

JM4x予選 (1-4 ->Q, 5.. ->R)

JM4x #6 15:35 予選 1組 JPN GER EST POL UKR CHN

500mではGER、POLが抜け出し、JPN・UKR・EST・CHNは1秒ほどの間に並んだ状態。1000mまでの間にGERが抜け、1艇身差でPOL。CHNとJPNが横一線、UKRはそれより3/4艇身差で追う展開に。

1500mでは、CHNに出られながらもJPNは4位をキープ。とはいっても1000mで少し差が開いていたUKRとこの段階でほぼ横一線の状態に。ここが勝負どころ。

3位のCHNを視野に入れながらも、残りの500mはJPNとUKRの4位争いに。

ゴールラインまで熾烈な戦いが続きましたが、約0.3秒差でJPNが4位に入り予選を通過し準々決勝に。4位ながらも予選を突破してくれたことが、JPNチームに大きな流れをもたらす粘り強いレースでした。

1位GER6:13.83、2位POL6:19.76、3位CHN6:25.82、**4位JPN6:28.85**、5位UKR6:29.14、6位EST6:43.14

JM2x予選 (1-4 ->Q, 5.. ->R)

JM2x #13 16:24 予選3組 GEO、JPN、ARM、CAN、HUN

スタートからHUNが1つ抜け出し、CAN・ARM・JPNがほぼ横一線に並ぶ状態。

1000mでは、HUN・CANが3位以下を1艇身差以上を広げて1位・2位争い。やや遅れて、JPNとARMが3位争いに。1500mでは、JPNが地力の違いを見せて、ARMとの差を広げ3位をキープし、そのままGoal。

1位HUN6:58.16、2位CAN6:59.92、**3位JPN7:06.06**、4位ARM7:21.35、5位GEO7:32.07。

男子は結果的に2クルーとも予選を通過。嬉しいことです。とはいえ、8/8(金)の準々決勝は間違いなく厳しいレースとなります。気を緩めず、そしてレースごとに成長・変化していくクルーであってほしいと願っています。

8/7(木)のJPN女子のレースに向けて集中していきます。



上 JM4x 予選1200m付近の様子：S古田(米子工業)、3武田(美方)、2高田(敦賀工業)、B中原(日田)

左上 JM2x 予選1500m付近の様子：S野村(潮来)、大久保(明治大)

右下 JM2x レース終了後、船台への帰艇の様子